

一般社団法人 高岡青年会議所

2023年度
活動報告書

2023年度 スローガン
「真価・新価・進化」

～ 目次 ～

1. 理事長報告3P
2. 直前理事長・専務理事報告4P
3. 副理事長報告5P
4. 監事報告6P
5. 室長報告7P
6. 23年度報告
 - 年間活動報告8P～19P
 - アカデミー特別委員会20P～21P
 - ひとづくり委員会22P～23P
 - まちづくり委員会24P～25P
 - 組織力向上委員会26P～27P
 - 財務・広報委員会28P～29P



第53代理事長 梅島 清香

今年度、「真価・新価・進化」というスローガンを掲げ、皆で活動してまいりました。高岡の歴史文化に加え、高岡青年会議所の歴史を紡いできてくださった諸先輩方に感謝しながらも、これまでのあたりまえに思考を奪われることなく、なぜそれをするのか、なんのために誰のためにやるのかを、共に考える組織に昇華し、良い運動を行うためには、組織力の強化が必要だと思い、多くの新たな挑戦をしました。

委員長を中心に挑戦的な事業を多く展開し、今年度はメディアに取り上げられる事の多い年であったと思います。新たな試みでの例会スタイル、多くの方を巻き込んだ事業、市民や各種団体との接点を作り、高岡青年会議所の事業に多くの共感をもっていただけたのではないかと思います。さらには目標にしていた20名の会員拡大も達成することができ、多くの頼もしい新入会員を迎え入れ、組織として進化できた1年だったと思います。多くの出向者も輩出し、各地で大活躍してくれました。これからさらに活気ある高岡青年会議所になっていくことと思います。

最後に、最大の理解者であり、いつも寄り添い支えてくれた正副スタッフの皆様。陰で援護してくださった直前理事長、監事。覚悟をもって役を受けてくれた委員長。そして副委員長、理事、メンバーの皆様、国際関係顧問やシニアクラブの皆様、家族や職場の皆様、関わってくれたすべての方々に心からの感謝を申し上げます。1年間、ありがとうございました。



直前理事長 上田 真也

最終最後の年として直前理事長という担いを頂戴しました。今年はず年と比べ非常に多くの活動が再開され発信も行えた年だと思います。しかし私自身は、昨年より自身の選択により活動量が増える事なく時間を過ごしてしまったと反省も残ります。入会し10年、青年会議所において仲間と共に学ばせて頂いた事に間違いはなく常に自ら考え、そして行動を起こしリーダーシップを発揮していく。ここから本番だと思っています。最後に様々な貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。



専務理事 米田 恵樹

理事長の決断を100%正解にするという発信を新年祝賀会でさせて頂きましたが、専務という役割で、何一つ理事長の理想を実現できたものは無く力不足を痛感しました。しかしながら専務理事という立場で様々なチャレンジに関わらせていただきました。高岡に愛着を持つ機会であったギネス、学校から求められる教育プログラム、新たな広報へのチャレンジ、毎月定例会など、2024年度体制に好影響を与えるチャレンジであったと確信しています。



副理事長 奈部 潤弥

メンバーに対しては拡大活動への当事者意識づけ、新入会員へはJ C運動活動に共感を得てもらえることを行ってきました。人を巻き込むこと、魅力を分かりやすく伝えることの難しさを感じながらも、入会目標人数は達成できましたので、少しは自身も成長できたと感じます。



副理事長 大野 海

2023年度副理事長の役職を担わせていただきました。2回目の副理事長という事もあり、俯瞰的に室長や委員長を見れた一年でした。成長の機会を与えていただきありがとうございました。



副理事長 青江 威一郎

当会議所の事業について多くのメディアで取り上げていただいた本年。それぞれの事業の成功に向けて奔走するメンバーの姿を組織内外双方向へ共有し、外部との接着、内部での結束を図ってまいりました。次年度以降の更なる進化へとバトンを繋いでまいります。



監事 花田 将司

本年度、卒業した身でありながら外部監事の立場と役割を頂きました。俯瞰的且つ客観的にLOM並びにJC運動を見て、現役時代では学び得ない事が吸収出来ました。間違いなく言えるのは、JCでの経験は全て人生や仕事に活かせる。一見繋がってなさそうなことが実は本質的に繋がっている。本年は対外向けの事業が光るものがあった。様々な機会を通じた学びをメンバー間で経験シェアをして頂きたい。学びへの渴望、現役が羨ましい。



監事 松井 沙聞

これまで学んできたこと、心掛けてきたことをすべて組織にお返しできるよう努めてまいりました。毎月の定例会と理事会の監事講評では、メンバーの貴重な時間をいただいていることを意識し、苦心しながら臨んでいました。それがわずかでも価値ある時間になっていれば幸いです。

12年間JCI高岡に籍を置き、卒業年度に監事の職をお任せいただいたことは、誠にJAYCEE冥利に尽きません。ありがとうございました。



総務室 室長 西村 准一

今年度、初めて総務系の委員会担当となりました。室としては国際交流事業の担当ということでこちらもほぼ初めての経験でした。そのような不慣れな中で1年間活動をさせて頂いたということは自分自身、多くの経験や知識を得ることに繋がりました。そして、全10回の定例会を設えた棚田委員長、組織のために様々な新たな挑戦をしてくれた中崎委員長、最後まで一緒に活動をして頂き本当にありがとうございました。両委員会共に担いが重かったこともあり、年間通して様々な葛藤がありましたが、両委員長からは室長という立場ながらも多くを学ばせていただきました。本年度における経験を次年度の役職においてもしっかりと引継ぎ、成長を続けたいと思います。



ひと・まち室 室長 大庭 祐希

これまでひとづくりとまちづくりは別の室だったわけですが、今年度から同室となり、より好循環が生まれやすい事業を展開できると年当初から描いており、向野委員長と内田委員長が考案してきた手法の更に上を描くようにしてあげることを心に決めて、ひとまちの室長の役職を務めて参りました。室としては瑞龍寺のライトアップ、万葉朗唱、そして特に取り組んだことは、わんぱく相撲大会です。新たな試みをいくつか描いていましたが、なかなか実行まで至らなかったものあり、もやもやした思いです。が、しっかりと次年度へ引き継いで高岡の未来を更に輝かせることをここにお約束いたします。1年間ありがとうございました。

1月事業報告



1月11日 新年祝賀会



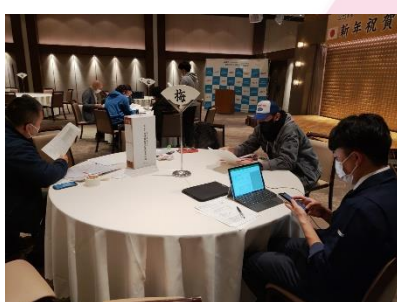
1月11日
新年祝賀会



1月8日
祝賀会リハーサル



1月19日～22日
京都会議



2月事業報告



2月12日 富山ブロック協議会 第1回全体会議



2月5日
高岡市災害ボランティア
センター運営研修



2月7日
2月度定例会



2月26日
(公社)日本青年会議所
誇りある日本人確立会議



2月25日
JCI高岡 シニア総会



2月28日
ブロック会長・役員
公式訪問

3月事業報告



3月8日 3月度定例会



3月8日
3月度定例会



ひとつづくり
委員会



まちづくり
委員会



4月事業報告



4月12日,19日 第1回会員研修事業 (JCゲーム/VMV)



4月17日
会頭公式訪問



4月4日
4月度定例会



4月29日
瑞龍寺
ライトアップ



4月16日
第1回じゃがいも
クラブ理事長杯



4月16日
じゃがいもクラブ
懇親会



5月事業報告



5月1日 韓国JCI大邱壽城 交流会議



4月29日～5月1日
大邱公式訪問（受入）



5月11日
5月度定例会



5月24日
高岡第一高校
地域探求事業



5月6日
献血ボランティア



5月13日
ASPAC



5月17日
学校訪問プログラム

6月事業報告



6月16日 ひとつづくり事業 学校訪問プログラム



6月4日
いっちゃんリレーマラソン



6月6日
6月度定例会



6月8日
臨時総会



6月17日
富山ブロック 野球大会
vs JCI砺波



6月10日
わんぱく相撲 高岡場所



6月21日
学校訪問プログラム

7月事業報告



7月22日～23日 サマーカンファレンス



7月1日
地区フォーラム
in 勝山



7月4日
7月度定例会



7月14日
学校訪問プログラム



7月2日
松太枝浜海岸清掃



7月2日
戸出七夕まつり



7月17日
災害ボランティア

8月事業報告



8月17日～19日 若者×スタートアップ×企業 ビジネスプランチャレンジ



8月6日
古城公園美化活動



8月13日
8月度定例会



8月19日
JCカップ



8月9日
臨時総会



8月12日
瑞龍寺ライトアップ



8月23日
第2回会員研修事業
JCゲーム

9月事業報告



9月19日 ギネス世界記録 町おこしニッポン in 高岡



9月9日
富山ブロック大会



9月26日
9月度理事会



9月19日
ギネス 乾杯リレー



9月12日
タンブラー洗浄



9月26日
学校訪問プログラム



9月5日
9月度定例会

10月事業報告



10月21日～23日 韓国JCI大邱壽城 公式訪問



10月1日
JCI滑川創立50周年
記念式典



10月3日
10月度定例会



10月24日
学校訪問プログラム



10月7日～8日
万葉朗唱の会



10月6日～8日
(公社)日本青年会議所
全国大会 東京大会



10月30日
卒業生交流会

11月事業報告



11月11日 富山ブロック協議会 第2回全体会議・卒業式



11月19日
献血呼びかけ



11月7日
11月度定例会



11月18日
高岡法科大学
秋季公開セミナー



11月4日
じゃがいもクラブ
キャプテン杯



11月1日
総務財務説明会



12月事業報告



12月5日 12月度例会
『シンJC』 ～シンカの先にあるシンカを手に入れろ～



アカデミー特別委員会



実施事業

- ① 会員拡大推進
- ② 会員研修事業
- ③ 12月度例会実施



委員長 奈部 潤弥

全員拡大を行う中で、メンバーを巻き込む為には、緻密な仕組作りの重要性を学ぶことができたこと、目的意識をしっかりとって入会してもらうことがJC運動への積極的な参加に繋がったことから、候補者へ魅力を伝え、共感を生むことの重要性を学ぶことができました。真のJayceeへと前進したと捉えます。会員拡大を全メンバーから積極的に行ってもらえるようにすべく、JCの魅力を一人ひとりが候補者に語れるようになる機会を来年度も検討ください。

23年度 事業報告

近年はコロナの影響もあり会員減少、入会してから歴の浅い会員が増加している傾向があり、今後より良い運動を展開していくためには理念に共感した同じ志を持つ仲間を増やし、運動を最大化できる組織となることを目指して活動してまいりました。

通年の目標として20人の入会と設定し、会員研修事業、京都会議、サマーカンファレンス、全国大会の参加促進、1年を通して会員に向けた拡大協力要請や定期的な情報交換の場を毎月例会時等で設け、入会候補へのアプローチの機会を増やし、結果20名を達成することができました。新入会員が中心となって12月例会を構築します。繋がりの大切さ、仲間と協力して成し遂げ絆を育むことを体感すること、一致団結した事業を今後も実施いたします。



ひとづくり委員会



実施事業

- ① 学校訪問プログラム
- ② 瑞龍寺ライトアップ
- ③ わんぱく相撲
- ④ 万葉まつり



委員長
向野 勇樹

学校訪問プログラム・8月事業では講師の講話だけではなく、講師の話聞いてどう感じたのか、グループディスカッションを通じて理解を深めるカリキュラムを構築しました。高岡龍谷高校のプログラムでは3回目・4回目のカリキュラムで1回目・2回目のカリキュラムを踏まえて自身の理想像を描きそこを目指すために今後どの様な目標を持って行動していくのかを構築しました。学生にとっては難しいながらも、真剣に取り組む姿勢が見られ、我々メンバーは学生たちに教えるつもりでプログラムを構築していましたが、毎回学生の新しい視点に驚かされ、反対に学生から教えてもらおう機会であったと考えます。こういった相手の成長を考え、プログラムを構築し実施していくことが自身の成長に繋がるということを学ばせてもらいました。授業内容が難しい、聞きなれない表現など実施による課題はありますが、学生目線で構築していくことが大切かと考えます。今回年当初の事業構築から実施に至るまで多くのメンバーや関係者各所にご協力をいただきました。皆さまには、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

23年度 事業報告

アントレプレナーシップに関するワークショップのカリキュラムが無いところからのスタートだったため、自分達自身も手探りで準備を進めていく事は大変である一方、イベントの座組が組み上がっていくにつれ、確かなやり甲斐を感じる事が出来ました。当日はスケジュール通りに参加学生達がタスクをこなせるか、またファシリテーターとして参加して下さったサポートメンバーの方々への事前説明が十分にできていたか等、運営側としての準備不足な面に不安もありましたが、無事やり遂げていただけた事に只々感謝するばかりでした。この機会に挑戦させて頂けた事、また事業の企画から当日まで沢山の皆さまに支えて頂いた事に感謝します。

高岡龍谷高校2年生を対象に4回、高岡第一高校1年生を対象に2回開催させていただきました。手探りの部分が多かったですが、高校生に学びをもたらすと同時に我々にとっても多くの学びを得ることができたと思います。時に大人でも難しいテーマだったこともあり、高校生にはかなり難しいのでは・・・と不安になったこともありましたが、むしろ積極的に取り組んでくれて、とても嬉しかったです。長丁場の事業でしたが、多くのメンバーにご協力をいただき、無事やり遂げることができました。本当に感謝申し上げます。



まちづくり委員会



実施事業

- ① ギネス世界記録 町おこしニッポン in 高岡
- ② わんぱく相撲
- ③ 万葉まつり



委員長
内田 達久

約半年に渡りこの事業に対する準備を、委員会メンバーを中心に高岡青年会議所のメンバーで行わせていただきました。全国からも多くの支援をいただき感謝申し上げます。

市民の皆様と事業を共に行うことで、一体感が創出でき市民一体となって高岡を盛り上げていけたのはとても良かったです。

23年度 事業報告

開催までに協賛金を集めて、協働団体を選定し開催日の調整を行い、開催内容のブラッシュアップ、クラウドファンディングを行い、同時にキャラバンを行いました。特に協賛金で約160万円、クラウドファンディングでは約390万と、高額の資金を多くの方のお力をお借りして集めることができました。クラウドファンディングに至ってはメンバーの繋がりから全国のROMから支援をいただき、改めて感謝申し上げます。アンケートの回答にも対外の方にも多数回答いただき、その数は322件にもものぼりました。アンケートの内容は温かい意見も厳しい意見もあり、真剣に回答していただくことで、多くの意見を吸い上げることができたので、改善点としてもあげさせていただきます。アンケートの記載が多かったのが、もう一度ギネス記録に挑戦したいという意見が多く、高岡の開町日に合わせて行政と民間企業を巻き込んで継続事業になるイベント開催できるように提言していきます。



組織力向上委員会



実施事業

- ①組織の円滑かつ効率的な組織運営の構築
- ②年間の例会の企画・実施
- ③新年祝賀会の実施



委員長
棚田 遼太郎

組織力向上委員会として、総務、組織力向上、毎月の定例会を実施させていただきました。中でも、毎月の定例会では、運営を行い、学びの部分は担当委員会に協力をお願いし、高岡青年会議所メンバーで一丸となり創り上げることができました。委員会内での協力はもちろん、他の委員会と委員会の垣根を超えた協力こそが、この定例会には求められるものであり、青年会議所活動は決して一人では成し遂げることができないものだと考えられます。

23年度 事業報告

毎月の定例会の設えに関しては、初めは淡々と同じ準備作業を行うようなイメージでいました。

しかし実際は、毎回多くのご意見を頂き、常にアップデートが求められる非常に濃い担いであると早々に気がつき、その期待に応えるべく、委員会内で色々と意見を出し合いました。全出席メンバーが満足する定例会とまではなかなかいかないものの、初めの頃よりは良くなって行ったのではないかと感じています。

上程される議案について、毎回総務チェックという議案上程に関する最低限必要な確認事項が満たされているかの確認業務に携わることで、これまで以上に議案についての理解が深まりました。

出席者に関しては現地参加者が例会、事業と比べると毎回少ないことがあり、総会の意義を伝え、意識自体を変革していく必要性を感じました。





実施事業

- ① 財政規則審査会議の設営及び運営
- ② 委員会単位での財務説明会の開催
- ③ 年間広報戦略実施



委員長
中崎 恵里子

委員会会全体での学びは、「無理はしない・活動は自己判断・生活が最優先・大変な時は互いに助け合う」ということです。委員長は学びの機会を提供するのが役割ですが、言い換えれば委員長は助けていただくことが役割なのかもしれません。意見がかみ合わない時は、「伝わらない」と思わず、どちらの意見も正しいが、一致していないと受けとめ、どちらを優先する場面なのかについて根拠をつめ、結論を出してからアイデア積み上げてみてはいかがでしょうか。

23年度 事業報告

LOMの財務規則や予算・決算書について詳しい方が案外少ないことには驚きました。ある段階で委員長が選んだ方と一緒に予算書を作成することを始めました。委員長は委員会のマネジメント、議案の作成・提出、アイデアの洗い出し、事業に関する情報収集をしばらく、ほぼ一人で行っています。委員の方へのOJTは、委員長の負担軽減とLOM内の財務規則の基礎の強化につながりました。

活動の一環として、会議や事業、定例会ごとに写真を撮影し、LINEアルバムに保存してきました。今までは参加しないと見えなかった様子が、LOMで今何が起きているのかなんとなく見えるようになった、という声をいただきました。24理事予定者の会議・委員会活動も動きはじめ、すでに全体LINEでアルバムが作成されています。写真はLINEアルバムに保存するということが、LOMに定着しつつあることがうれしいです。



